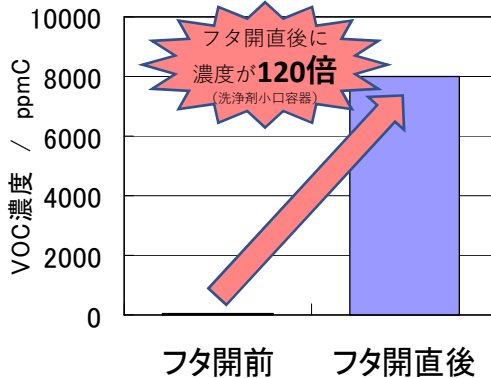


夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします!

夏場は気温が高く、とくに有機溶剤が蒸発しやすい時季です。

メリット ムダな蒸発を防いで**原材料費削減**



洗浄槽のフタをすると蒸発量が1/2~1/4程度まで減ります。(東京都VOC対策ガイド(工業内編)より)



フタ開放で8時間に約60gの溶剤が蒸発します。(日本印刷産業連合会 印刷業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアルより)

**フタを開放しているだけで溶剤は蒸発しています！
必要なとき以外はフタをしっかりと閉めましょう。**

メリット においが減ります！**作業環境の改善**

廃棄物容器の密閉

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉しましょう。「VOC拡散防止のため必ずフタをすること」等の張り紙をすることより効果的です。



低VOC製品を選びましょう

《印刷》低VOC洗浄剤

印刷業界の制度であるGP資機材認定制度では、低VOC洗浄剤等環境に配慮した資機材を登録しています。



《塗装》ハインソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3~6割程度まで抑制できます。

《めっき・金属表面洗浄》水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度の基準を見直し、水系洗浄剤へ代替することで、VOC排出量を5割以上抑制できます。

◎川崎市の支援メニュー (詳しくは川崎市のHPをご覧ください)

川崎市VOC排出抑制取組ガイド

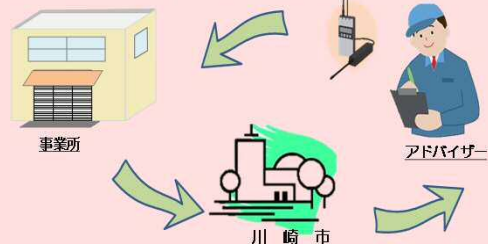
上記のような具体的VOC削減対策の方法と事例を紹介。



- 例
- ・スプレー作業の改善による塗着効率の向上
 - ・塗料等の容器の密閉化
 - ・洗浄装置周辺の風量の適正化

VOC対策アドバイザー派遣制度

知識と経験を有する専門家が事業所を訪問し、事業所に適したVOC排出削減対策を助言。簡易VOC測定も実施。上記のような具体的VOC削減対策の方法と事例を紹介。



無料

なぜ、VOC対策が必要なのか？



VOCは、有害な**光化学オキシダント**の生成原因の一つです。
光化学オキシダントが高濃度になると、光化学スモッグが発生します。

●光化学オキシダントの影響

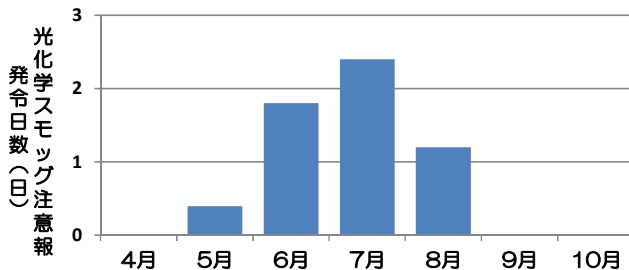
- ・健康への被害(目や喉への刺激など)
⇒近年でも光化学オキシダントによる健康被害が報告されています。
- ・農作物への被害
⇒葉の表面に斑点ができたり、枯れたりするなど農作物にも影響が発生します。

なぜ、夏季の対策が重要なのか？

光化学スモッグ注意報 は、**夏季に多く発令**されます。

※ 光化学オキシダントが高濃度(0.12 ppm)となり、その継続が見込まれる場合に発令

川崎市における光化学スモッグ注意報月別発令状況
(平成26年度～平成30年度平均値)



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件

- ①最高気温が25℃以上
- ②日照がある
- ③東京湾や相模湾から海風の進入がある
…など

高濃度の条件が揃いやすい夏季はVOCの排出を抑えることが特に重要です！

なぜ、近隣縣市と連携した取組が必要なのか？

夏季の光化学オキシダントは、**広い範囲で高濃度**になります。

高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・さいたま市・千葉市・相模原市・東京都が共同で夏季のVOC排出削減を呼びかけています。

こまめなフタ閉め等、**基本的な対策により**、VOCの排出は**削減が可能です**。
コスト削減等事業者様のメリットもございます。
基本的な対策から今一度見直し、
光化学オキシダント対策にご協力をお願いいたします。

川崎市 環境局 環境対策部 大気環境課

住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2516 (直通) FAX 044-200-3922

HP <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-4-12-3-0-0-0-0-0-0.html>

